平成２５年度　豊田中学校区学校保健委員会　報告

豊田中学校区の学校保健委員会も本年度で9回目となりました。今回は、『知っていますか？最近のネット、ケイタイ、スマホ』を演題に浜松こどもとメディアリテラシー研究所の長澤弘子さんを講師にお招きし、講話を聞いたり、演習をしたりしました。参加された皆さんからたくさんの感想をいただきました。内容をまとめましたので、ぜひ御家族で御覧ください。

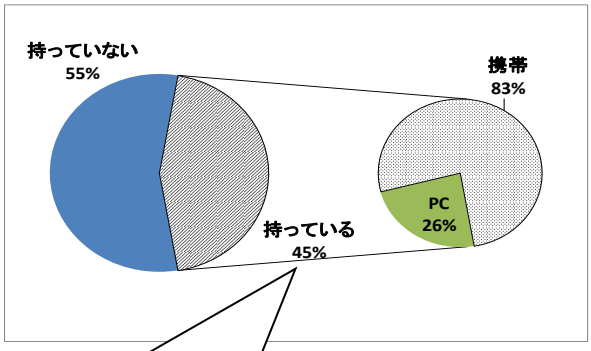
豊田中学校区学校保健委員会

1　日時：平成26年1月14日（火）
　　午後3時～午後4時30分
2　会場：豊田図書館　AVホール
3　参加者：（各学校PTA、学校職員）　62名
　　豊田中学校　　22名
　　豊田北部小学校　28名
　　豊田東小学校　　12名

1. 児童生徒のアンケート結果（一部抜粋）

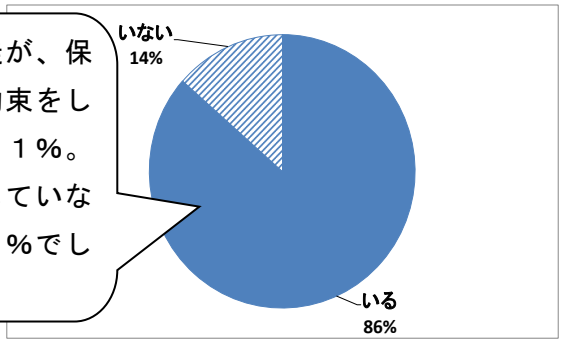
アンケート対象：東小、北部小5・6年児童、豊田中全生徒
回答数：　小学校241名、中学校242名　小中合計483名

自分専用のPCや携帯を持っていますか？（小中学校合計）



小中学生では、４５%の人が「持っている」と回答しています。そのうち、携帯電話を持っている人は８３%、パソコンを持っている人は２６%でした。この他に、タブレットを持っていたり、パソコンと携帯の両方を持っていたりしています。家庭においてパソコンや携帯が普及していることがうかがえます。

PCやゲームをする上で家の人と約束をしていますか？（小中学校合計）



児童生徒が、保護者と約束をしている８１%。約束をしていないが１４%でした。

★　*どのような約束をしていますか*

・時間を守る
・宿題などやるべきことをやってから使う
・１日１時間
・１日２時間
・長時間続けない
・やりすぎない
・ＰＣは親の許可を得てから使う
・ＰＣは親の前で使う
・自分の部屋に持って行かない
・変なページは開かない（有害サイトを見ない）
・食事中はやらない
・課金するゲームはしない
・必ずリビングでやる
・３０分で終わりにする
・お手伝いをする
・通信機能は使用しない
・知らない人と通信しない
・ゲームは夜８時（９時）まで
・悪口は書かない

2. 長澤弘子さんの講話 （浜松子どもとメディアリテラシー研究所）

（NPO法人　浜松子どもとメディアリテラシー研究所は、インターネットや携帯などの、メディアの正しい理解と使い方を伝えています。）

～知っていますか？最近のネット、ケイタイ、スマホ～

☆ **インターネットは、ネットワークのネットワーク　世界に広がる情報通信**

情報モラルは、同じマナー、同じルールで使うことが大切。ネットの中は大人と子どもの区別がない。好きな人も知らない人も悪い人も全員が世界につながってしまっている。文字・写真・動画・音楽などいろいろあり、２４時間年中無休である。

☆ **インターネットの良いところ**

便利であること。時間や場所に関係なく自分が動かなくても情報や物が動く。（世界中にすぐに、たくさん）

☆ **インターネットの悪いところ**

正しいか、間違っているか、本当か、うそか、確かめることができない。一度インターネットに出した情報は、完全に消せないでずっと残ってしまう。基本的なネットのしくみを知らない人が多い。多様化と低年齢化で子ども（幼児）の利用状況は増加している。ネットゲームで遊ぶ２％の人は、知らない人と遊んでいる。

☆ **スマートフォン（スマホ）と携帯は違う**

携帯は、電話＋ネット。スマホは、電話もできる小型ＰＣ。利用者の判断力がより求められる。

３つの危険・・・①歩きスマホ　②怪しいアプリ　③長時間の利用

「青少年インターネット環境整備法」平成２１年４月１日施行

<u>１８歳未満が使用する携帯には、フィルタリングの義務づけ。子どもをインターネットの被害から守る。</u>

☆ **ＬＩＮＥ（ライン）で困るトラブル**

知らない人（大人）と出会う。長時間の利用（布団の中でもできる）友人関係のトラブル（ラインはずし？）、情報の広がり（友達の友達は友達？）、スタンダードなツールになったLINEだからこそ、スタンダードなスタイルの共有が必要。

☆ **対策（親子で話し合うきっかけに！）**

- 受信者が有害な情報へのアクセスを遮断する（フィルタリング）
- ハードウエアとして、携帯、スマホ、ゲーム機などの機械や装具について
- ソフトウエアでパソコン、携帯、スマホなどのプログラムについて
- 静岡県教育委員会では、「親子のケータイ契約書」づくりを呼び掛けている。

子どもが何を見ているのか知っておく

☆ **課題解決に向けて**

めまぐるしく変化する問題点について、知識や情報の更新が必要。普遍的な課題として、倫理観（価値観）や道徳が重視される。最初にルールやマナーを伝え、問題が起こった後は、サービスやツールの知識が必要。

☆ **ネットを利用する時の注意、**

次にどうなるか、相手はどう思うか、世界中に知らせても良いことかをよく考えてから発信する。

※「インターネットは私たちの生活をよくするための道具です。ネットでも普段の生活でも、して良いことと悪いことは同じです。自分が傷ついたり、友達を傷つけたりしないで、自分の生活をよりよくするためにどうやって使うかを考えていくことが大切ですね。」とお話ししていただきました。

3. 参加者の感想（一部）

・とても勉強になりました。確かに『ひとり1台タブレット』の時代に対応していくには、もっと勉強しなくてはと思います。

・フィルタリング機能を是非調べて実施したいと思います。

・大人も便利さでラインやネットを使っていますが、改めて便利さも恐ろしさも知るいい機会になりました。